

# Yamakado News Letter



**本会結成 20回目の新年を迎える**



守護岩を掘り出す鹿田会員



しめ縄を新調する浅井会長



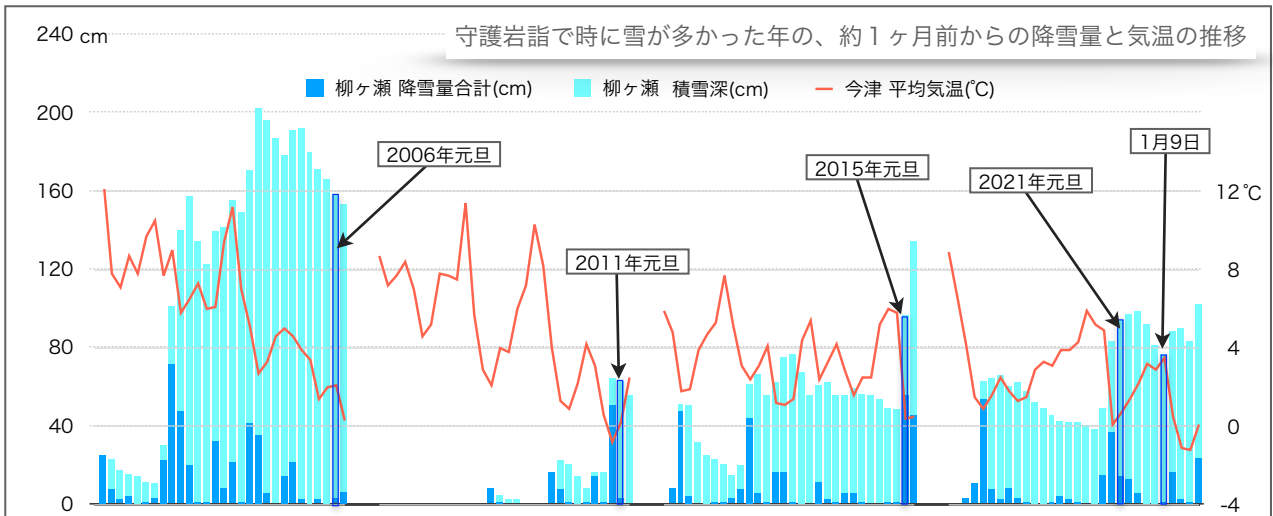
飾られた守護岩



体力のある者は県境峠へ

年末にまとまった降雪があり、元旦も荒天が予想されたため、今年の守護岩詣では安全を考えて9日に延期して行いました。元旦に行わないのは会が発足して以来初めてのことだそうです。延期した甲斐あって、当

日は少々風は強かったものの、好天に恵まれました。参加者8名が守護岩を目指して出発。現地に着くと、雪に完全に埋まった守護岩が見えるように除雪して、新しいしめ縄に交換。保全作業の安全を祈願しました。



毎年続く守護岩詣ですが、過去にも何度か元旦に雪が多い年がありました。気象庁の過去データによれば、元旦の積雪深は2006年が過去20年で最大です。編集子が参加する前のことで状況はわかりませんが、守護岩を掘り出すのが大変だったのではないのでしょうか。ただ、この年は数日前から雪が降っていないので、雪面は硬化して歩きやすかったのではと想像します。過去データでは、この日は全国的に穏やかな正月とあります。当時参加された方、如何でしょうか？

シーズン通して積雪深が最大だったのは2011年ですが、元旦時にはさほど積もっていません。しかし、前日に一気に50cmの降雪があり、足が沈んで歩きにく

かったのではと想像します。過去データでは、この日は強い冬型が続き、山陰で記録的な大雪とあります。

2015年は編集子も参加していますが、吹雪の中での行軍でした。過去データでも冬型の気圧配置が強まり日本海側は雪とあります。行軍はラッセルではなかったものの、あれよあれよという間に雪が積もりました。吹雪が激しく、四季の森に降りてからの昼食でした。

今年の元旦は2015年と条件に近いようですが、前日に約40cmの降雪があり、吹雪のラッセルだったと思います。

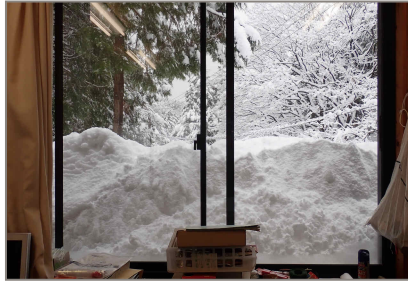


2015年の守護岩詣で

## 雪に覆われた1月

2019年、20年と暖冬で、1月は殆ど雪がなく、1月から屋外で保全作業をしていました。しかし、今年は森が元旦からずっと雪に覆われていて、保全作業は除雪以外は行えていません。

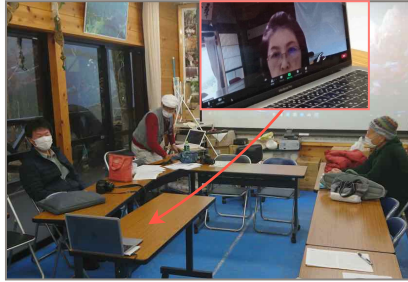
またコロナ禍の影響で会議もオンラインで行うことが増えました。本会が発足して20年の節目に、20年間の活動を書籍にまとめる作業を進めていますが、その編集作業もオンラインで行っています。会員他、関係者の方々にコラム記事をお願いしていましたが、その原稿が沢山集まってきました。それら原稿が一冊の本として一貫性があるように、編集委員会を開いて読み合わせを行っています。初期の頃は日時を決めて研修室に集まっていたのですが、今月11日以降は週2～3回のペースで夜8時から2時間ほど、各自宅でオンラインで行っています。



これ以上の落雪は窓が危ない 1/2



軒下の除雪作業 1/4



初 オンラインを交えた会議 12/13



初 全員オンライン編集委員会 1/11

## 湿原の定期調査の一環で～

会員の田中夫妻が毎月一回、定期的に湿原内の何ヵ所かのポイントで、水温、水位、電動率、pHの計測を行っていて、そのレポートが送られてきます。藤本先生が調査していた時代のもとのと合わせると、そのデータはかなりの年数分になります。最近はそれに関連して、会員の寺井さんが南部湿原の地下水の動きについて湧水調査を始められました。いずれ、報告や発表があると思いますが、データからどんなことが読み取れるのか、どんな仮説が立てられるのか、楽しみに待ちたいと思います。その調査の一環で、寺井さんより南部湿原の雪解けの変化をドローンで撮影できないかと依頼を受けました。それで天候の安定している日にドローンを飛ばして南部湿原の俯瞰画像を撮影しています。右がその画像ですが、皆さんは何か感じるものがありますか？



1月14日の南部湿原



1月18日の南部湿原 前日に少し降雪



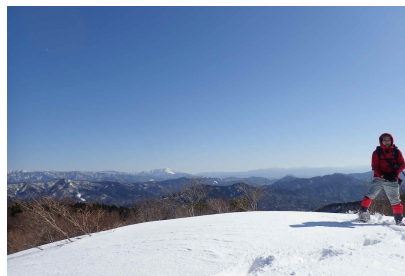
1月21日の南部湿原



1月28日の南部湿原



ツーショット 白黒のコントラスト



県境峠 雲ひとつない空

## 久しぶりに高気圧が張り出したので

1月20日、久しぶりに高気圧がいい具合に張り出したので、守護岩の積雪計測も兼ねてブナの森コースを歩きました。大変気持ちの良い青空でした。高気圧は午前中が日本海から日本列島に上陸する直前くらいの位置だと快晴になりやすく、上空を通過した後は雲が発生しやすいそうです。今回は移動がゆっくりだったので、21日も快晴が続きました。皆さんも山歩きの際は、予報天気図を眺みながら、高気圧がベストポジションになる日を狙ってみて下さい。